

## 第9回 南部地区街づくり協議会 議事録（要旨）

### 1. 開会あいさつ（並河市長）

皆さまお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。前回の協議会より少し時間が空いてしまったが、その間、市ではご議論いただいていた内容も含めて、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。また、実現に向けての1歩がなかなか進められなかった九条バイパスについて、縣市連携案件として事業化できた。これらはこれまでご議論いただいていたことの実際の効果が出てきていると考えている。後ほどご紹介させていただくが、本市の杣之内町へ奈良県国際芸術家村が誘致される旨の報道発表があった。南部地区ではないにしろ朝和校区に近接しており、地域にとっては進展があったと考えている。まちづくりマップに関しても、朝和の皆さまのおかげで完成に近付いているところ。本日は、来年度に向けて一つでも施策の具体化を進めていきたいと考えている。

### 2. 前回協議会の議事録の確認

奈良県立美術館展覧会リーフレット及び招待券の紹介

### 3. 議 事

#### （1）南部地区基本構想（案）について

- ・一昨年に締結した縣市連携協定に引き続き、県では、協定を締結した個別の事業に対してソフト事業1／2、ハード整備1／4の助成を知事のリーダーシップで考えていただいている。支援を受けるためには包括協定から個別協定まで至る必要があり、本日お示ししている南部地区まちづくり基本構想は、その一段階手前の基本協定の締結に係る地区全体の具体的な取り組み方針等を示したものである。

（資料）南部地区基本構想により、事務局から説明

（資料）天理市サイクルルート計画（案）により、事務局から説明

（資料）南部地区の方針整理と具体的取り組みにより、事務局から説明

#### 【以下、委員の発言要旨】

- ・①長柄運動公園及び長柄駅周辺について、長柄運動公園は健康づくりとスポーツの拠点化ということを目指したい。老朽化した施設の改修と新たな拠点として必要な機能の検討及び整備を進めていきたい。
- ・田原本方面とのルートの結節点としても位置づけをしていきたい。
- ・イベント等では想定以上にたくさんの来場者が来られることがあり、その際に駐車場の確保が問題になる。
- ・天理駅前広場に設置予定の健康遊具について、長柄運動公園近接の馬田池公園へも集積を行う予定。
- ・②九条バイパスについて、縣市連携のもと進めているが、県もルートの選定などい

よいよ大詰めの段階にきている。

- ・空き家の増加や買い物難民、一人暮らしの高齢者の増加という課題については、民泊や宅配サービス付の直売所、介護予防のための交流・対話場所として、長柄新池公園を利活用できないか。
- ・長柄駅周辺については市街化調整区域であるため、事業者の誘致や住宅の建設ができない。市街化区域への変更や区画整備が必要ではないか。
- ・観光客等に対する集客設備不足については、長柄新池公園の空きスペースに直売所・休憩所機能をもった施設の建設ができないか。
- ・大和神社への集客について、大和神社参道にある朝和会館を活用できないか。休憩所がなくトイレも十分ではないため、施設を一部改修し産品販売や休憩所として活用できないか。
- ・「てくてくてんり」については、今後の活用の可能性の一つとして、長柄新池公園を活用するようなコース設定も検討できると考えている。
- ・長柄新池公園では数年前から桜の植樹をしており、4月頃には提灯を吊って花見を楽しんでいただけるようにしている。昔は規定も厳しく、飲食や犬の散歩が禁止となっていたが、今はすべて取りやめている。
- ・④トレイルセンターを山の辺の道・龍王山のビジターセンターとして機能強化及び内装リノベーションする計画をしており、来年度に整備を行う予定。
- ・これまで萱生町を中心に県の農村振興課で取り組まれている柿の木オーナー制度の派生として、増加する山の辺の道沿いの放棄柿園を解消し景観向上を図るとともに、新たなビジネスモデルとして柿の葉を活用するプロジェクトが進んでいる。
- ・地域の方々が自ら取組みを起こしていただいていることは大変素晴らしいこと。いかに地元にお金を落としてもらえかが一番大事なことである。先ほど説明のあった構想に書かれている内容についても、そういった観点で進めていただければ良い。
- ・⑤黒塚古墳周辺エリアに関して、道の駅機能を集積したエリア強化として、既に地域で取組んでいただいている柳灯会や地域産品のマルシェ、農業体験といった取り組みと、黒塚古墳展示館駐車場の活用、地域交流もてなし拠点の実験実施をつないでエリアとしての魅力強化を図りたい。この議論については分科会として地域で議論をできないかと考えている。
- ・ハード整備として黒塚古墳を通る新たな動線を設定し、協議会での議論にも出ていた視認性の改善や駐車場の利用促進について向上を図りたい。主な整備として169号の下をくぐる一部未舗装区間を舗装整備する。里道の一部については地元施工をしていただく部分があり、地域との協力で整備を行うことになる。併せて、各導線の案内表示等についてもエリアで予定している分科会で協議を行いたい。
- ・黒塚古墳正面の旧武家屋敷については、地域交流の場、また、観光客を含む柳本町への来訪者をもてなす拠点として、一定の期間で実験的に開けていけないか。
- ・周辺の施設である障がい者ふれあいセンターは一部イベント等でご活用いただいているのみ。もう少し地域の交流拠点として活用いただけるよう検討をしていきたい。

- ・169号はかなりの交通量があるので、これまでは離れた信号を渡らなければ危険であった。確かに、国道下を抜けられれば安全に山の辺の道へ向かってもらえる。
- ・駐車場から黒塚古墳への動線には、もう少し案内に工夫が必要ではないか。また、黒塚古墳駐車場とコンビニとの境目にバリケードが設置されており、それが心理的に利用の妨げとなっていると感じている。
- ・⑥南檜垣宮農組合におかれては、これまで減農薬による大豆の狭条密植栽培といった先進的な取り組みや、消費者との農業体験を通じた交流などを積極的に実施されており、日本農林漁業振興会会長賞むらづくり部門を受賞された。また、同組合員で校区区長会長におかれても、毎日新聞の毎日農業記録賞を受賞されている。
- ・南檜垣宮農組合の営農活動については県内でも間違いなくトップクラスである。
- ・我々の地域は昔からの農村地帯で、農地だけが財産のようなもの。10年前から営農組合を立ち上げて取り組んできたが、節目として取り組みを評価いただき、栄えある賞に大変喜んでいいる。
- ・今後はイベントなどを通して都市住民との交流をし、外からの活力を頂いていかなければならない。そんな中で常に問題となるのは駐車場とトイレの不足。自転車道を整備いただけるのであれば、トイレを含む休憩所施設の整備をお願いしたい。
- ・生産しているアヤミドリは奈良県の準奨励品種。県内で取り組んでいるのはおそらく当組合のみ。一部、卑弥呼味噌や豆乳等の加工食品として活用しているが、消費・販路を拡大していければ、他の組合でも生産をする動きも出てくるのでは。
- ・周遊ルートを設定していく際、どこで休憩できるかを明記することは非常に重要。すぐに整備できるかはともかくご指摘として承りたい。
- ・整備計画を進めている天理駅前の食と旅の拠点においても、生産いただいている農産物を食材として活用・PRさせていただくような流れを整理したい。
- ・⑦桜井市及び田原本町との連携により、角川出版の歴史読本を天理・桜井・磯城地域というくくりで製作することになった。日本遺産の登録については、桜井市との共同申請に向けて準備を進めている。
- ・田原本町とは定住自立圏構想で連携を図るべく調整を進めているところ。また、川西町とはコミュニティバスの相互乗り入れを調整中。今後、南部地区においてもルートの広がりを出していければ。
- ・檜垣町と桜井市大豆越の境に桜井市のコミュニティバスの停留所がある。観光面と併せて生活面としても連携をしていければよいと思う。
- ・歴史読本に関して、この本を読む方は歴史に対して結構マニアックな方。作成側が出したい情報と読者が欲しがるとは実はズレがあることも多く、普通の観光情報ではなくある程度深い情報のニーズが高い。
- ・⑧万葉まほろば線駅は地区内のそれぞれのエリアへアクセスする重要な始点となっている。朝和・柳本それぞれに駅が存するということを強みとし、各活性化プロジェクトの支点また帰着点として構想に必要な位置づけや機能の整備を図りたい。
- ・⑨芸術家村構想について、市としては周辺施設との連携や周辺の文化・スポーツ関

係との連携についてお願いしたい。道の駅の機能の整備構想も検討されていると聞いている。これを機に一体で整備をされれば市としても大変ありがたい。

- ・ 県としても知事自ら力を入れている事業だが、様々に課題もありこれからの段階である。要素を盛り込んでいくことも大事だが、この施設を単独で運営していくのではなくどのように活用できるかを考えていくことが重要。今後、県・市及び関係機関で協議を進めていきたい。
- ・ ⑩南部地区全域に関して、市における南部地区の位置づけは、歴史・文化・芸術を担う地域であると考えている。総括的には、地域の魅力を活かしたブランド力・発信力の強化を進めていきたい。
- ・ 奈良県立大学との連携事業について、手始めとして龍王山へ登山していただく予定。学生の新しい目線による魅力の発信を進めていきたいと考えている。
- ・ 朝和まちづくりマップについて、まだ修正点も多いが良いものにしていきたい。民話や云われを数多く盛り込んでなど地域の住民の方々にも知っていただきたい内容が詰まっている。
- ・ 奈良県立大学との連携については、是非、学生の新鮮な目線で取り組みを進めていただき、今動いているプロジェクトの結果につながるような提案を頂ければありがたい。

#### 5. 次回の日程と主な協議内容

次回第10回協議会は4月を予定。後日日程調整を行う。

#### 6. 閉 会 -16:00-